

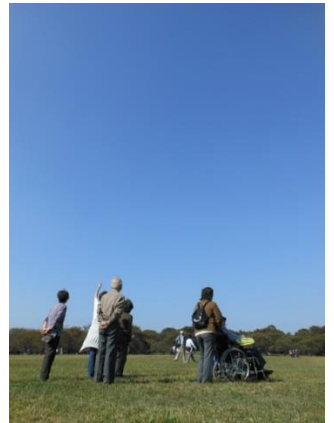
小規模多機能あけぼのさん家ニュース

発行日
2014年11月
NO.1

「通い」「訪問」「お泊り」のサービスを利用できる「小規模多機能あけぼのさん家」のご利用を検討していただく際の参考に日頃の様子をご紹介しますと思います。

あけぼのさん家の日中の流れ

- 9:00～ お迎えスタート
- 10:00～ 血圧・体温を測った後に、みなさんでお昼のメニュー会議
- 10:30～ みなさんで昼食作り開始。昼食の材料をお買い物。
入浴される方は順番に開始。
- 11:45～ 食事前のお口の体操。
- 12:00～ みなさんで盛り付け・配膳。
- 12:15～ 昼食。
- 13:00～ みなさんで食器の片付け。
- 13:30～ それぞれ好きなことをする時間。
お昼寝・テレビ・読書・お散歩・お買い物などなど
- 15:00～ おやつ。
- 15:30～ レク。体操・歌唱・ゲームなどなど
- 16:00～ 帰りの送迎スタート



昭和記念公園にピクニック



みんなで餃子作り

Aさんの例（退院後の排泄に対する不安の対応・・・自宅での生活を想定しての練習）

- ・80代 女性 日中独居 介護度2 パーキンソン症候群 1ヶ月入院したが退院してからの生活が不安。
- ・退院して直であけぼのさん家の泊りを利用。そのまま連泊。泊まっている間に夜間のトイレ動作など日常的な動作を確認し、そういった生活リハビリをしてより自宅での生活に近い状況で過ごしてもらい、2週間後無事に在宅復帰されました。
- ・その後は週4回の通いであけぼのさん家を継続して利用しています。

Bさんの例（職員粘り強い働きかけで関係性が構築され通いが開始）

- ・90代 女性 息子夫婦と同居 介護度1 下肢筋力低下で外出の機会が減り鬱傾向に。被害妄想多く自殺未遂があった。その為家族も目が離せなくなった。
- ・利用開始時は迎えに行っても床から出ようとせず「行かない」の一点張り。そこで訪問に切り替え2～3日に1回ほど顔を出し少しずつ顔なじみの関係になり、その後あけぼのさん家に通いで来てくれるようになる。
- ・通いだすとどんどん元気になりなかなか食べられなかった食事もしっかり食べられるようになり通いの回数も増え日常動作などの身体機能も上がっていきました。

Cさんの例（退院後車いすでの買い物、入浴の不安を一緒にに行い安心してできるようになる。今は歩行で可能）

- ・80代 男性 独居 脳梗塞で3ヶ月入院 退院後の買い物や入浴が出来るか心配。
- ・退院してすぐにあけぼのさん家の通いを週3回利用。入浴と通いの日に週に1回職員と買い物に出かけ食料や生活用品を購入しています。本人の努力もあってスーパーの中を車椅子で回っていた買い物も今では歩いて回っています。

Dさんの例（奥さんの入院。急な対応としてのお泊りも即可能）

- ・80代 男性 奥様と二人暮らし 週3回の透析 奥様が入院になり食事のことが心配。
- ・透析以外の日に週の3回あけぼのさん家で作った昼食を届ける。その他に週に1回泊りを実施。
- ・泊まった次の日の朝はあけぼのさん家から移送サービスを使い直接透析を受けに病院に行っています。
- ・1日1回の安否確認と透析がない日の泊まりで本人も安心されていて「快適に過ごせている」と言って下さっています。



あけぼのさん家の外でも体操



昼食風景